課題No.17　地域共創科目運営支援

神戸親和大学
KOBE SHINWA UNIVERSITY

地域共創を支えよう

私たちは、学校と地域を繋ぐために、情報をわかりやすく伝え、声を集める取り組みをしました!

目指したこと

☆アンケート作成　☆取材内容のPowerPoint作成　☆先生方への取材
☆次年度に向けての海外発信サポート

先生アンケート班

広報班

生徒アンケート班

国際班

主な取り組み

活動内容

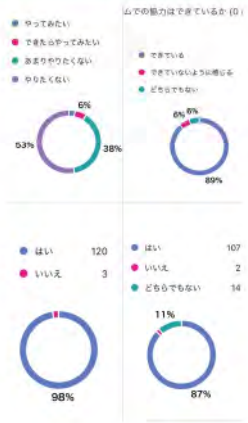
今、ここから未来を変える。
～想いを描く　笑顔が導く　集まる北区～

☆キャラクターとキャッチフレーズの作成
- キャラクターの候補となる案を３つ発案し、清書の協力、キャラクターの決定ともにアンケートで回答を募集した。
- 学生にキャッチフレーズを考えてもらいその中から重複する単語を活用し、課題１７でキャッチフレーズを決定した。

☆アンケートによる意見取集（生徒）
- 答えやすさを重視したアンケートを作成した。
- チームの協力や活動の進捗、地域との関わりについて質問した。
- キャッチフレーズ考案や、地域共創を絵文字で表す設問を取り入れた。
- 自由記述欄を設け、率直な意見を集めた。

☆アンケートによる意見取集（先生）
- 地域共創科目の課題や活動の現状について質問した。
- 科目運営支援チームが支援できる事や、広報活動への意見を収集した。
- 今後の運営支援や改善に活かすことを目的とした。

☆ ~活動だより~ 地域共創
- 各自が1人に取材を行い、地域共創の活動について調べた。
- 取材内容をもとに、活動だよりを１枚ずつ作成。
- 多様な地域共創の取り組みを共有することを目的とした。



広報資料の翻訳版

1.プレスリリース作成・配布、外国語版も対応
2. 活動だよりでイベントやワークショップ 紹介
3. 先輩の体験談を多言語で発信

★広報資料翻訳版を大学の広報戦略室に提出

～活動だより～
地域共創

課題番号：01
「グリーンリーダーの育成」
活動内容は大沢町で草刈りや脱穀や竹を切るなどいろんな農作業をしています。そして、地域の人と話したりバハラムさんの知り合いの人が現地に話に来てくれます。

～活動だより～
地域共創

まとめ

・地域共創の顔となるキャラクターとキャッチフレーズの決定に携わることができ光栄に思う。
これらを活用することで地域共創について知ってもらい、これからの活動に活用していきたい。（広報担当）
・アンケートによる意見取集と、活動だよりによる情報発信を行ったことで地域共創は一方通行ではなく相互のやり取りによって成り立つものであると理解した。今後は、このやり取りを大切にしながらより伝わる取り組みを行っていきたい。
質問文を簡潔にわかりやすくしました。誤解が生じないように、専門標語は避け短く具体的な表現にしました。最初は答えやすい質問から始め、徐々に考える質問にしました。（アンケート担当・サポート担当）
・地域密着の想いを大切にしながら、今後はその取り組みを海外にもさらに発信していきたい。また国際班として、地域共創の可能性を広げていきたいと考える。そのために、多言語での発信や文化の違いに配慮した伝え方にも取り組んでいきたい。（国際担当）

謝辞　アンケートにご協力いただきありがとうございました。